

〔国際会議開催〕

申請者	公立はこだて未来大学 システム情報科学部 教授 角 薫	2255007
国際会議名	The 21st International Conference on Persuasive Technology (PERSUASIVE 2026)	
会議ホームページ URL	https://2026.persuasivetech.org/	
開催期間	2026 年 3 月 10 日～2026 年 3 月 13 日	
会場名称	公立はこだて未来大学	
会場住所	北海道函館市	
開催形式	対面開催	
申請者の役割	General Chair	

〔国際会議の概要〕, 〔開催の目的・意義と得られた成果・効果〕

PERSUASIVE 2026 (The 21st International Conference on Persuasive Technology) は、2026 年 3 月 10 日から 13 日までの 4 日間にわたり、公立はこだて未来大学において開催され、3 月 14 日には函館市内においてエクスカージョンを実施した。本会議は、人間の態度や行動の変容を支援する情報技術 (Persuasive Technology) に関する国際会議であり、Human-Computer Interaction, Artificial Intelligence, Affective Computing, Behavior Change Support Systems などの分野の研究者・実務家が集い、最新の研究成果を発表・議論することを目的としている。

PERSUASIVE は、これまで主に欧州や北米で開催されてきたが、2026 年の函館大会は日本で初めて開催された記念すべき大会となった。アジアでの開催により新たな研究者層の参加が促進され、例年の約 2 倍にあたる投稿数を記録し、本会議に対する国際的な関心の高さを示す結果となった。

PERSUASIVE 2026 は、感情、行動、認知に関する研究を扱う国際会議 ABC2026 (Affective Behavior and Cognition Conference 2026) と同じ会場で併設開催された。これにより、Persuasive Technology に加えて、Affective Computing, 認知科学、心理学など隣接分野の研究者との交流が促進され、学際的な議論と新たな共同研究の機会が創出された。また、両会議の連携により、参加者の相互交流が活発化し、会議全体の国際的な広がりや学術的インパクトが一層高まった。

本会議には、20 の国・地域、五大大陸から約 130 名の研究者・学生・実務家が参加した。参加者のうち約 53% が日本国内から、約 47% が海外からの参加であり、非常に国際性の高い会議となった。函館市への実績報告では、現地参加者は 134 名であり、その内訳は海外 67 名、国内 67 名であった。

会議では、ワークショップ、チュートリアル、Doctoral Consortium、一般研究発表、ポスター・デモ発表、基調講演、バンケットなど、多彩なプログラムを実施した。基調講演には、ソーシャルエージェント研究の第一人者であるフランスのソルボンヌ大学の Catherine Pelachaud 教授および大阪大学の石黒浩教授を迎え、身体性 AI や行動変容支援技術に関する最先端の知見が共有された。

3 月 14 日のエクスカージョンでは、五稜郭など函館市内の名所を訪問し、参加者に地域の歴史と文化を紹介するとともに、研究者間の交流をさらに深める機会となった。

本会議の開催により、Persuasive Technology, Human-AI Interaction, 教育工学, 医療, 健康支援など多様な分野の研究者間で活発な国際交流が促進された。また、大学院生や若手研究者にとって、世界的研究者から直接フィードバックを受ける貴重な機会となり、次世代研究者の育成にも大きく貢献した。

さらに、本会議の開催を通じて、公立はこだて未来大学および函館市の国際的な認知度向上に寄与するとともに、宿泊、飲食、観光などを通じて地域経済への波及効果ももたらした。加えて、本会議を契機として、国際共同研究や特集号企画など、新たな研究展開にもつながっている。

また、本会議で発表された研究成果は、Springer より Lecture Notes in Computer Science (LNCS) および Communications in Computer and Information Science (CCIS) の 2 冊の査読付き国際会議論文集として出版され、Persuasive Technology および関連分野の最新研究成果が国際的に広く発信された。これにより、本会議の学術的成果が恒久的な形で記録され、今後の研究発展に資する重要な成果となった。さらに、本会議の企画として、Frontiers in Artificial Intelligence において「Next-Generation Persuasive Technologies for Human-AI Interaction and Behavior Change」と題した特集号が出版されることとなり、Persuasive Technology に関する最新研究成果を集めた国際的な論文特集が出版される予定である。これにより、本会議で形成された研究ネットワークが継続的な国際共同研究へと発展し、本分野のさらなる学術的発展に寄与することが期待される。

公益財団法人立石科学技術振興財団からのご支援により、本国際会議を成功裏に開催することができた。ここに深く感謝申し上げる。本助成は、人間と AI のより良い関係を探究し、人々の健康、学習、幸福に資する行動変容技術の研究促進と国際交流の発展に大きく寄与した。

